

科目コード /Course Code	51792002	単位数 /Credits	1	時間数 /Class Hours	15	対象年次 /Academic Year	全学部 1-4年
授業科目名 /Course Title(J)	生命と健康 - 環境安全学 -			開講期 /Semester	第1 Q	時間割 /Class Hours	第1 Q 水曜日 1・2時限
授業科目名英字 /Course Title(E)	Life and Health II: Environmental Safety			授業形式 /Course Format	講義	必修・選択 /Required course / Elective course	選択
履修する際に 前提とする 授業科目 /Previous course	特になし			内容的に密接に関係 する授業科目 /Related course	環境関連専門科目		
担当教員名	【所属】/Department	【学内室番号】 /On-Campus Room Number	【電話番号】	担当教員名	【所属】/Department	【学内室番号】 /On-Campus Room Number	【電話番号】
加藤純雄	理工学部	物質科学・2435	018-889-2445	後藤 猛	理工学部	物質科学・2741	018-889-2741
林 滋生	理工学部	理工学研究センター・ 2758	018-889-2758	岩田吉弘	教育文化学部	教育文化3号館218	018-889-2622
佐々木真紀子	医学部	基礎看護学・6512	018-884-6512	目黒健志	医学部	環境安全センター・ 6192	018-884-6192
オフィスアワー /Office Hours	【場所】/Office	各教員室		【曜日・時間】 /Meeting Day/Time	各教員のオフィスアワー		
授業の 目的・概要 /Course Description /Outline	<p>授業の目的 科学技術の発達には人類に多大な利益をもたらすが、一方で様々な環境問題の発生や開発された製品や技術を使用する際の安全性のリスクが生じる。今日、環境や安全に関わる問題を無視して健全で快適な社会生活・学園生活を営むことはできない。この講義では、環境と安全性に関する基礎的な知識を習得するとともに、勉学や研究過程でその知識を実践できる能力を養うことを目的とする。</p> <p>授業の概要 環境リスクとは何か、その所在を説明するとともに、環境リスクから身を守るために必要な知識、技能、制度を解説する。</p>						
到達目標 /Course Objectives	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境安全学とは何か概説できる 2. 環境中のリスクおよびハザードとは何か説明できる 3. 環境評価、リスクコミュニケーション、環境マネジメントシステムについて説明できる 4. 実験室における化学物質の安全取扱いについて説明できる 5. 非化学系実験室における事故防止に関わる環境管理について概説できる 6. 医療現場の有害環境因子（抗がん剤、ラテックスなど）と安全管理について概説できる 7. 環境に由来する疾病について概説できる 						
カリキュラム 上の位置付け /Positioning of the Course on Curriculum	専門課程での環境関係の講義を聴講するに必要な基本的知識および環境安全の基本的視点を提示する。						

授業の進行予定と進め方/Class Schedule and Format			授業時間外の学習内容等 /Contents of Out-of-Class Study		
<p>第1回（4月10日）「環境安全学と環境安全センターの役割」（加藤純雄・目黒健志） 環境安全の意義、および人と環境の関係を概説するとともに、環境安全センターの役割について講義する</p> <p>第2回（4月17日）「環境安全の考え方と環境マネジメント」（後藤 猛） リスク、ハザード、環境評価、リスクコミュニケーション、環境マネジメントシステムなどについて身の回りの例を挙げて解説する</p> <p>第3回（4月24日）「非化学系の実験室における環境・安全管理」（林 滋生） 電気機器、工作機械を用いる実験室における事故防止のための環境管理を講義する</p> <p>第4回（5月8日）「実験室での化学物質の安全取扱いについて」（岩田吉弘） 実験室の安全確保の概要と、化学物質の性質に対応した安全取扱いについて講義する</p> <p>第5回（5月15日）「医療現場の有害環境因子と安全管理」（佐々木真紀子） 医療現場における抗がん剤などの危険因子の取扱いを含む安全管理について講義する</p> <p>第6回（5月22日）「環境汚染と健康影響」（加藤純雄） 環境有害因子による健康障害について講義する</p> <p>第7回（5月29日）「環境安全センターの見学」（加藤純雄・目黒健志）</p> <p>第8回（6月5日）「環境安全センターの見学」（加藤純雄・目黒健志）</p> <p>第7ないし8回のいずれかの見学会に参加してもらい、環境安全センターの実態を観察してもらおう</p>			<p>授業などで紹介された文献資料を参考に、授業内容の復習を必ず行うこと。</p>		
授業に関連 する キーワード /Course Keywords	環境安全センター	環境マネジメント	環境汚染		
	リスクコミュニケーション	リスクとハザード	医薬品安全取扱い		
	化学物質と安全				
成績評価の 方法と基準 /Grading Criteria	各回に課した演習またはレポートの平均点で60点以上を合格とする。 なお、「環境安全センターの見学」をしなかった者は自動的に不合格となる。				
教科書・ 参考書等 /Textbook /Reference Books	【教/参の別】 /Textbook or Reference Books	【書籍名】/Names of books	【著者】/authors	【出版社】/publisher	【ISBN】
メッセージ /Messages	<p>教科書・参考書等について 各教員が推薦する参考書。 もし可能であれば「医学概論」（http://www.med.akita-u.ac.jp/~eisei/IMS01.pdf）を読んでおくことが</p>				